※令和４年度以降入学生用

学校番号	C4001

令和８年度　家庭科

科目	家庭基礎	単位数	２
使用教科書	家庭基礎　自立・共生・創造　（東京書籍）		
副教材等	なし		

	前期	後期
単位数	１	１
レポート	３枚	３枚
必要出席回数	２回	２回
テスト	○	○
課題・実習等	なし	

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

○家庭生活のさまざまなことに関心をもち、積極的にとりくみましょう

- 将来自立して生活するために必要な衣食住や消費生活、家族・家庭及び福祉について基礎的・基本的なことを学習します。
- 学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活になるように活用しましょう。
- レポートは教科書を活用し取り組み、提出期日までに提出しましょう。
- ＮＨＫ高校講座を視聴することで、反復学習だけでなく、広い視点で学ぶことができます。

２　学習の到達目標

- 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を修得する。
- 家庭や地域における生活のなかから問題や課題を見いだし、習得した知識及び技能を活用して主体的に解決する。
- 様々な生活事象に関心をもち、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに生活を主体的に営むために必要な基礎的・基本的な知識や技能を身に付けている。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題や課題を見いだし、習得した知識及び技能を活用して解決策を考察し、根拠に基づいて論理的にそのプロセスや結果を表現している。	様々な生活事象に関心をもち、生活の充実向上をめざして主体的に問題の解決に取り組み、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

- 学習指導要領(第１章第２款の５)に則りラジオ・テレビ放送その他の多様なメディアを利用して行う学習による面接指導時間数の免除(面接指導の時間数のうち 10 分の６以内の時間数を免除)の制度を活用することもある。
- 学期末に５段階で評価する。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	生活設計	第1章 生涯を見通す	a. 人の一生について，自己と他者，社会との関わりから様々な生き方があることを理解しているとともに，自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理を行い，生涯を見通して，生活課題 に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解を深めている。 b. 生涯を見通した自己の生活について主体的に考え，ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生 活について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 c. 様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，生涯の生 活設計について，課題の解決に 主体的に取り組んだり，振り返 って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	・レポート ・定期考査	・レポート ・定期考査	・レポート
	家族	第2章 人生をつくる	a. 生涯発達の視点で青年期の課題 を理解しているとともに，家族・家庭の機能と家族関係，家族・家 庭生活を取り巻く社会環境の変 化や課題，家族・家庭と社会との関わりについて理解を深めている。 b. 家庭や地域のよりよい生活を創造するために，自己の意思決定に基づき，責任をもって行動することや，男女が協力して，家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 c. 様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，青年期の 自立と家族・家庭について，課題 の解決に主体的に取り組んだ り，振り返って改善したりして， 地域社会に参画しようとすると ともに，自分や家庭，地域の生活 の充実向上を図るために実践し ようとしている。	・レポート ・定期考査	・レポート ・定期考査	・レポート
	保育	第3章 子どもと共に育つ	a. 乳幼児期の心身の発達と生活，親の役割と保育，子供を取り巻く社会環境，子育て支援につい て理解しているとともに，乳幼 児と適切に関わるための基礎的 な技能を身に付けている。 b. 子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し，解決策 を構想し，実践を評価・改善し， 考察したことを根拠に基づいて 論理的に表現するなどして課題 を解決する力を身に付けてい る。 c. 様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，子供の生 活と保育について，課題の解決 に主体的に取り組んだり，振り 返って改善したりして，地域社 会に参画しようとするとも に，自分や家庭，地域の生活の充 実向上を図るために実践しよう としている。	・レポート ・定期考査	・レポート ・定期考査	・レポート

※令和４年度以降入学生用

	高齢者	第4章 超高齢社会を共に生きる	a. 高齢期の心身の特徴，高齢者を取り巻く社会環境，高齢者の尊 厳と自立生活の支援や介護につ いて理解しているとともに，生 活支援に関する基礎的な技能を身に付けている。 b. 高齢者の自立生活を支えるために，家族や地域及び社会の果た す役割の重要性について問題を 見いだして課題を設定し，解決 策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 c. 様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，高齢期の 生活と福祉について，課題の解 決に主体的に取り組んだり，振 り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとも に，自分や家庭，地域の生活の充 実向上を図るために実践しよう としている。	・レポート ・定期考査	・レポート ・定期考査	・レポート
	共生	第5章 共に生き、共に支える	a. 生涯を通して家族･家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している b. 家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評 価・改善し，考察したことを根拠 に基づいて論理的に表現するな どして課題を解決する力を身に 付けている。 c. 様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，共生社会 と福祉について，課題の解決に 主体的に取り組んだり，振り返 って改善したりして，地域社会 に参画しようとするとともに， 自分や家庭，地域の生活の充実 向上を図るために実践しようと している。	・レポート ・定期考査	・レポート ・定期考査	・レポート
後期	食生活	第6章 食生活をつくる	a. ライフステージに応じた栄養 の特徴や食品の栄養的特質，健康や環境に配慮した食生活について理解しているとともに，自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けている。おいしさの構成要素や食品の調理上の性質，食品衛生について理解しているとともに，目的に応じた調理に必要な技能を身に付けている。 b. 食の安全や食品の調理上の性質，食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画，健康や環境に配慮した食生活について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 c. 様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，食生活と 健康について，課題の解決に主 体的に取り組んだり，振り返っ て改善したりして，地域社会に 参画しようとするとともに，自 分や家庭，地域の生活の充実向 上を図るために実践しようとし ている。	・レポート ・定期考査	・レポート ・定期考査	・レポート

※令和４年度以降入学生用

	衣生活	第7章 衣生活をつくる	a. ライフステージや目的に応じ た被服の機能と着装について 理解しているとともに，健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理ができる。被服材料，被服構成及び被服衛生について理解しているとともに，被服の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 b. 被服の機能性や快適性について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 c. 様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，衣生活と 健康について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向 上を図るために実践しようとしている。	・レポート ・定期考査	・レポート ・定期考査	・レポート
	住生活	第8章 住生活をつくる	a. ライフステージに応じた住生活の特徴，防災などの安全や環境 に配慮した住居の機能について 理解しているとともに，適切な 住居の計画・管理に必要な技能 を身に付けている。 b. 住居の機能性や快適性，住居と地域社会との関わりについて問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 c. 様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，住生活と 住環境について，課題の解決に 主体的に取り組んだり，振り返 って改善したりして，地域社会 に参画しようとするとともに， 自分や家庭，地域の生活の充実 向上を図るために実践しようと している。	・レポート ・定期考査	・レポート ・定期考査	・レポート
	経済生活	第9章 経済生活を営む	a. 家計の構造や生活における経済と社会との関わり，家計管理に ついて理解している。 b. 生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・ 改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 c. 様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，生活にお ける経済の計画について，課題 の解決に主体的に取り組んだ り，振り返って改善したりして， 地域社会に参画しようとすると ともに，自分や家庭，地域の生活 の充実向上を図るために実践し ようとしている。	・レポート ・定期考査	・レポート ・定期考査	・レポート

※令和４年度以降入学生用

	持続可能な生活	第10章 持続可能な生活を営む	a. 消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費生活の現状と課題，消費行動における意思 決定や契約の重要性，消費者保護の仕組みについて理解しているとともに，生活情報を適切に収集・整理できる。 b. 自立した消費者として，生活情報を活用し，適切な意思決定に基づいて行動することや責任ある消費について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実 践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 c. 様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，消費行動 と意思決定について，課題の解 決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域 社会に参画しようとするとも に，自分や家庭，地域の生活の充 実向上を図るために実践しよう としている。	・レポート ・定期考査	・レポート ・定期考査	・レポート
	生活創造	第11章 これからの生活を創造する	a. 生活と環境との関わりや持続可能な消費について理解しているとともに，持続可能な社会へ参 画することの意義について理解 している。 b. 持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう，安全で安心な生活と消費について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 c. 様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，持続可能 なライフスタイルと環境につい て，課題の解決に主体的に取り 組んだり，振り返って改善した りして，地域社会に参画しよう とするとともに，自分や家庭，地 域の生活の充実向上を図るため に実践しようとしている。	・レポート ・定期考査	・レポート ・定期考査	・レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度